

石岡市教育委員会 教育長賞

「地域の人との繋がり」

府中中学校 二年 飛澤 真優（ひざわ まゆう）

社会を明るくしていくためには、犯罪や非行をなくす事だと思います。毎日見るニュースで、悲しいニュースをほぼ毎日見ます。それを見て、涙が出たり怒りを感じる事があります。

あいさつが活発な町は、地域の人が自分たちの住んでいる環境に関心が高いから、犯罪や非行が少ないとテレビで見たことがあります。私もそう思います。地域の方々と良好な人間関係を作っていくことが大事だと思います。

身近な犯罪では、窃盗や詐欺、虐待などありますが、どれも地域の方々と良好な人間関係を築いていけば、防げることもあります。

例えば、私の母の職場の近くで起きた事ですが、車の通りが少ない所で何度か太陽光発電の銅線が盗まれたそ

うですが、近所の方々が不審な車が来た時は、ナンバーや、車種などを控えたりし、犯人を見つけた事があったそうです。詐欺や虐待などもそうだと思います。地域の方々と良好な関係であれば、誰かが気づき防げる事もあるかと思っています。

私の身の回りにも「犯罪や非行のない明るい社会」に繋がることを探してみると、コンビニに貼ってある防犯のポスターや、保護者や地域の人が、登下校を見守ってくれていたたり、私の家にも子ども１１０番の家と書いてある看板を掲げています。地域の人に見守られていると感じることができ安心するし、ポスターや看板を見ると自分の身に起こるかもしれないし気をつけようと思います。

私の家族は三世代世帯で暮らして

いますが、現代では、核家族世帯または単独世帯が増え、人と人の繋がりが減ってきていると言われています。なので、お祭りや地域で行われている行事などに、積極的に参加したいと思います。

その他にも、自分ですぐに行動できそうな「あいさつが活発な町づくり」を試してみたいです。「おはようございます」「ありがとうございます」「さようなら」など、自分から笑顔で相手の目を見て「あいさつ」をするように心がけていきたいです。自分からあいさつをする事で、良好な人間関係を築くことができると思います。「あいさつ」をすることで話をするきっかけができたり、相手の印象に残り、顔を覚えてもらえたらいいなと思います。自分の顔を覚えてもらうことで犯罪に巻

き込まれないための対策にもなるかなと思います。

「あいさつ」を一人一人が意識する事で、犯罪や非行が減り、「明るい社会」に繋がっていくと思います。

